

発行所

石岡市役所

石岡市大字石岡408番地
電話(代表) (3) 1111番
郵便番号 315

発行人 大和田 健三郎
編集 総務部



1971年

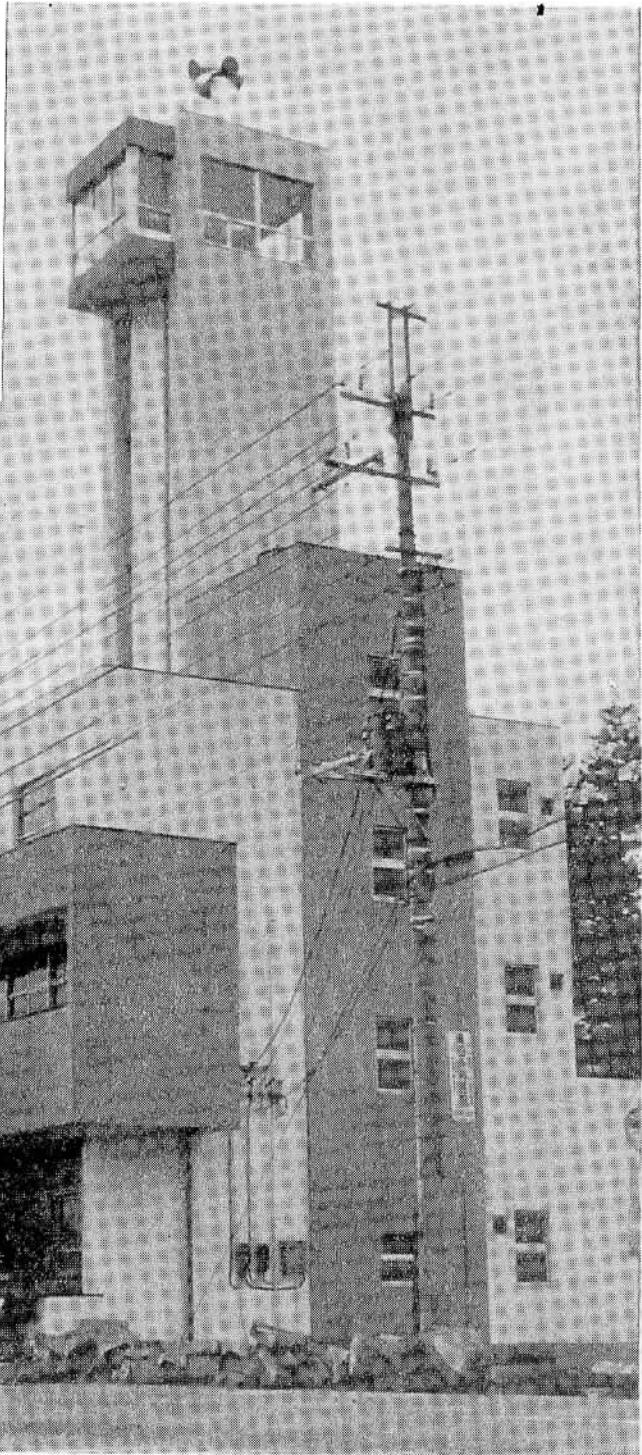
4月号

第193号

毎月1回 15日発行
昭和46年4月15日発行
昭和44年6月9日
第3種郵便物認可
(定価1部5円)

消防署の新庁舎が 完成しました。

市では、消防署の新
庁舎を六号国道ぞいの
山王台交差点脇に建設
中でしたが、このほど
完成し、三月二十九日
に関係者を招いて落成
式を行いました。
この新庁舎は、鉄筋
コンクリートづくり三
階建(塔屋五階建)で
、総工費六千五百六
十一万二千円をかけて
つくられました。(新
庁舎の平面図など六ペ
ージをごらんください)



46年度
予
算
ま
る

一般会計

13億2308万9000円

特別会計

3億945万4000円

三月定例市議会

昭和四十六年市議会第一回定例会は、三月五日から十六日までの十二日間にわたって開かれました。

この議会には、重度心身障害児福祉手当支給条例の制定や昭和四十六年度予算案など二十九議案が上程されましたが、すべて原案どおり可決されました。

主な議案の内容は次のとおりです。

重度心身障害児福祉手当支給

条例の制定など二十九議案を可決

四十六年度予算

四十六年度当初予算は一般会計が十三億二千三百八万九千円、特別会計(有線放送電話事業、授産所、国民健康保険、農業共済事業)が三億九百四十五万四千円となりました。(予算についてのあらましは四、五ページをごらんください。)

昭和四十五年度補正予算

こんど補正された予算額は四千六万五千円で、四十五年度における一般会計の予算総額は十三億六千九百三十万七千円となりました。

この補正された予算がどのような事業に使われるかその主なものを見てみますと、石

岡市開発公社運営補助金とし

て百九十二万七千円、市税の計算センター委託料として二百三十六万五千円、私立保育施設への委託措置費として八

千円、半の木ごみ捨

た。(予算についてのあらましは四、五ページをごらんください。)

十七万四千円、市税の計算センター委託料として三百六十円を補正し、予算総額は二千七百八十九万一千円となりました。

した。

た。

<p

各種委員の選任について

三月十九日に任期切れとな

つた公平委員の大山要藏さん

(東大橋) が議会の同意を得

て再任されました。

また、欠員になっていた農

業共済評価委員に山本久夫さ

ん(貝地) が議会の同意を得

て任命されました。

を施設したりした場合に別表

のよう占用料が徴収され

ことになりました。

その他の議案

★ 市職員の給与に関する条例

★ 市職員の特殊勤務手当に関する条例

★ 市立小学校及び中学校の校

長並びに教員の兼務に対する

特別職の職員で非常勤のも

の報酬及び費用弁償に関する

★ 特別職の職員で常勤のもの

の給与及び旅費に関する

る給与支給条例の一部改正

★ 損害賠償の額の決定及び損

害賠償請求事件の和解につ

いて

★ 市の区域及び名称の変更に

ついて

★ 市道路線の一部変更につ

て

★ 教育長の給与勤務時間及び

その他の勤務条件に関する

優良納税組合など表彰

市内には現在三百九十三の

納税組合(組合員一萬一千三

百六十二人) があり、市税の

納税に積極的なご協力をいた

だっています。

市では、これに感謝して、

四月三日、市民会館ホールで

納税組合長会議を開き、その

例の一部改正

席上、優良納税組合などの表

彰を行ないました。(敬称略)

①組合表彰

大路第三、泉町第四、泉町

第六、泉町並木東、国分五、

国分六部、国分第十、国分共

栄、青木一部、金丸四、金丸

町第一、東上町第二、東上町

第三、上町第一、上町第二、

井関東、茨城相互

松井元右衛門、片岡忠、横田

実、本谷良雄、岡村藤吉、山

山口国次郎、小島幸三、山崎
武、高橋恵太郎、雨貝三郎、
藤枝秀雄、木間塚仁之助、浜
冷水義正、背忠雄、岩瀬と
勝雄——以上十年連続

五十嵐彦次(水久保)
横田健之助(木之地)
島田寅之助(若松町四部)
大貫賢治(兵崎町四部)
中尾操(染谷町)

小久保信雄(若松十一部)
高野幸一(守横町)
久田安蔵(守横町三部)

大和田信夫(国分町十四部)
大和田信夫(国分町十四部)
大和田信夫(国分町十四部)

前島正之助、植田浜之助、福
田正、大島忠澄、山口藤吉、
鈴木久佐衛門、小松崎弘

川井仁、中江要、前野安治、
田村光男、高野定雄、押野さ
と、脇谷美一、芹沢雄二、野

村利光、比氣祐之助、関光雄
前島正之助、植田浜之助、福
田正、大島忠澄、山口藤吉、
鈴木久佐衛門、小松崎弘

大和田信夫(国分町十四部)
大和田信夫(国分町十四部)
大和田信夫(国分町十四部)

永年勤続駐在員さん

市では、日ごろ各種行事に
ご協力をいただいている各地
区の駐在さんに集まつてい
ただき、三月二十六日、市民
会館ホールで駐在員会議を開
きました。

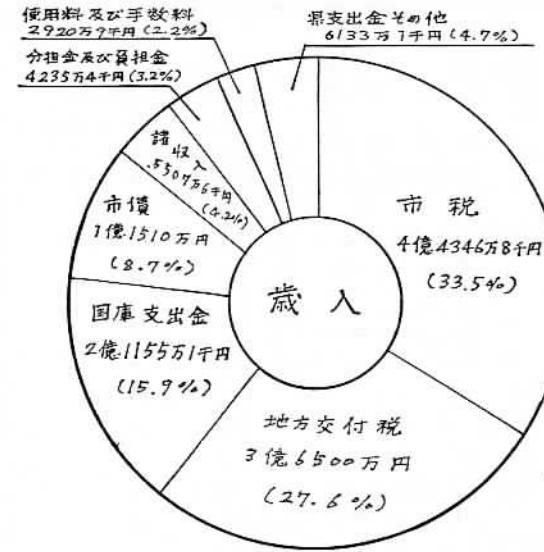
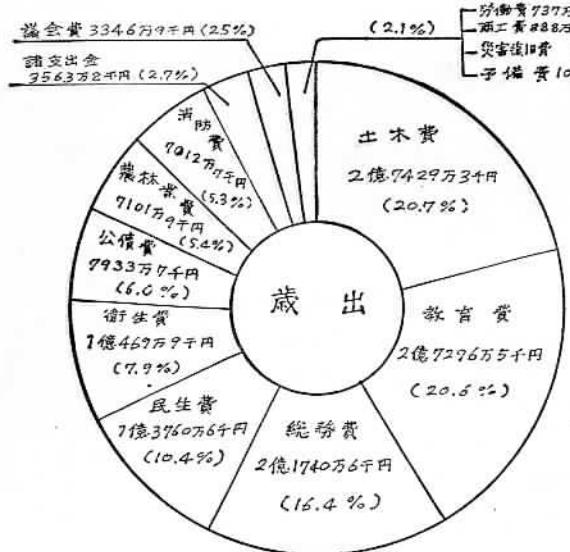
この会議の席上、長い間ご
協力をいただいている次の駐
在員さんを表彰しました。

二十年勤続
(敬称略)

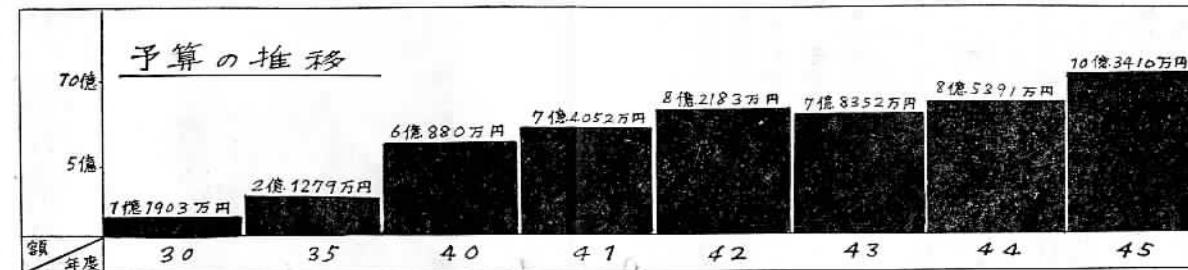
山田茂(國分町六部)

大貫賢治(兵崎町四部)

中尾操(染谷町)



46年度予算は このように使います



労 働

総額一億四千四百九十六万九千円で、前年度より二千四百三十四万一千円（三十・二パーセント）ふえています。今年度は新規にじん芥収集車と汚いで吸排車を各一台購入するため三百三十三万円を計上したほか、主なものとして、湖北水道企業団負担金五百五十一万五千円、同貸付金三千万円など計上しました。

ために私立保育所への委託費三十四万二千円、市立保育所費用四百九十一万円、このほか生活保護扶助費四千四百四十三万二千円などを計上しました。

道跡整備はハローワーク

口川車

千円で、前年度より三千三百五十三万一千円（一八・二パーセント）ふえていました。
人件費などの経常費が主ですが、投資的経費としては、市長、市議選などの選舉費用として五百九十四万六千円を計上したほか、給与や税金の計算センター委託費五百十六万一千円、市庁舎や市民会館の管理委託料四百四十七万五千円、公害用水質分析器購入しました。

総額七千百一十九千円で、前年度より千六百二十七万一千円（二九・七パーセント）ふえています。

給食費がかかるようになり、センターをつくることになり、この事業費として五千三百十四円、万六千円、また、一里塚整備事業費として五百万円、幼稚園教育振興助成に二百十円などを計上しました。

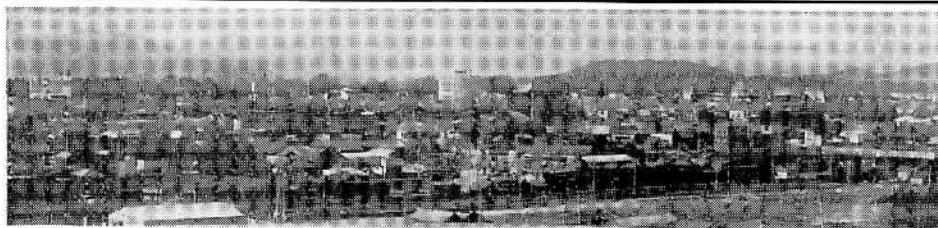
An illustration of a traditional Japanese money bag (fukuro) tied at the top. A large, bold letter 'Y' is printed on the front of the bag.

昭和四十六年度の予算は一般会計十三億二千三百八万九千円、特別会計三億九百四十五万四千円ときまりました。市では、この予算にもとづいて、これから来年の三月までいろいろな事業を行なっていくわけですが、どのような事業にどれくらいのお金が使われるか、予算書からその主なものをひろいあげてみました。

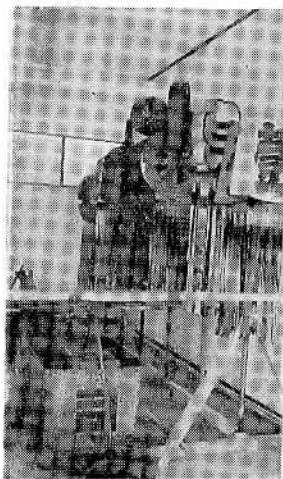
教育費

消防

七千食分つくれる
給食センターを建設



望樓から市街地中心部を望む

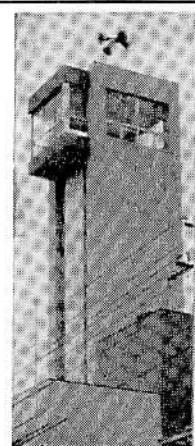


資料室には、昭和の初期ごろまで使われていたといわれる。

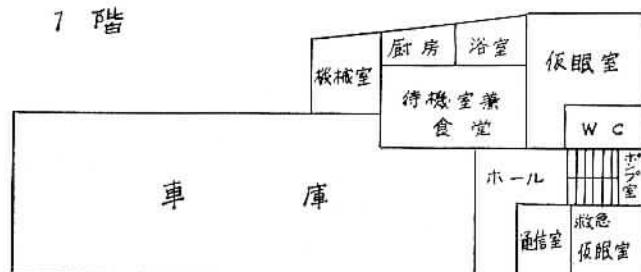
消防庁舎の概要

新庁舎は1階が481.702平方メートル、
2階が339.828平方メートル、3階が179.025平方メートルで下の平面図のようになっています。

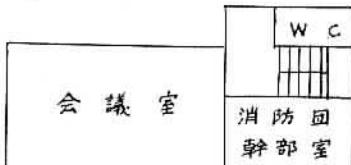
また、緊急出動のときは庁舎前の信号機がすべて赤になり、車がスムーズに出られるようになっています。



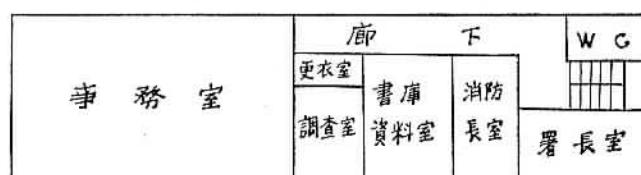
塔屋の高
さ地上25
メートル



3 雜



2 隋



三村、関川各小学校の現状を考慮すると、将来はむしろ減少するのではないかとも思われる。しかしながら今後の開発がどのように進展するかできることなどので、早急な判断はくだせないであろう。

城南中学校といふと、全國的に新しい教育機器施設と、それを活用する先生方の、高度な教育技術とで有名である。TPCとかシン

城南中学校は、クロファックスとかアナライザーとかいう、一般の人には耳馴れない教育機器といわれるものが生徒の学力をつけるために使われている。未来的教育を考えると、この面の城南中学校の運営は正しい筋道であり、来年度、県立研修センターの研究指定校となる予定になつてゐる。岡本校長の卓識した経営手腕により、全職員一致して伝統を築きつゝ充実した教育が行なわれている。

翌年関川中学校を合併、三十八年校舎を完成、全員収容し現在に至る。霞ヶ浦を見おろす高浜の高台に、鉄筋三階建ての校舎がそびえ、体育館、プール等をもち、熱心な父兄の援助と相まって近代学校として内外共に充実した学校である。

終

学園だより

城南中学校



カメラ

石小体育館が

完成しました→

市内の小学校では、はじめての屋内体育館が石岡小学校にできました。

この体育館は、市民の皆さんにも利用していただるために中学校の体育館よりも大きくなっています。（府中中体育館の一・五倍）

なお、鑿工費は四千八百石円です。

たんぼう



青少年センターだより

石岡市青少年センターでは、青少年の非行防止、非行青少年の早期発見、善導をねらいとして、青少年相談員が市内パトロールを行なつています。

で不良交遊、怠学、盛り場は一回、不健全娯楽の順になつており、シンナー乱用などで四人補導しています。

また、職業別では、高校生が八十五人で一番多く、次い

主査兼秘書係長
友水忠（秘書係長）
主査兼庶務係長（議會）
風間次雄（庶務係長兼議事
係長）
資產稅係長

←ライオンズクラブ
消防署へ赤バイ寄贈

ライオンズクラブ（松葉弘会長）では、このほど市の消防署へ火災防止に役立ててくださいと赤バイを寄贈しました。

消防署ではさっそく、緊急連絡用などに使っていくことにしました。

写真は市長に目録を手渡す左から会員の
松嶋会長、久保田、塚原、海老沼さん

家庭の日の図画、作文コンクールに高野さん、飯塚さん入賞

人事異動
市では、四月一日付で次のような人事異動を行ないました。（係長以上、カッコ内は旧職名）

四月は卯(う)の花がハツ
季節の話題

青少年育成茨城県民会議では、第三日曜日を家庭の日と定め、楽しく明るい家庭づくりの推進に努めています。そこで、图画、作文をとおして普及推進を図るため、県内の小学生から作品を募集しています。たとえ、たくさんの応募があり、石岡市では作文三席で飯塚ひとみさん(根当分校三年)、岡書佳作に高野洋子さん(石小四年)がそれぞれ入賞しました。

旧職名	体育保健課長事務取扱
岩田明尊	(教育次長)
給食センター	建設事務所長
久保庭淳	(市民会館次長)
衛生課長兼衛生処理場長	
高橋美智雄	(文書広報課長)
公害交通課長兼公害係長	
長谷川清(衛生課長)	
文書広報課長	
前野秀明	(公害交通課長)
体育保健課主査兼体育係長	
植田正己(交通安全係長)	

季節の話題
四月は卯（う）の花がいつせいに咲きそろうので、「卯月」と呼ばれているようです。

主査	小林栄（庶務諸課係長）
主査兼庶務係長（総務部）	高野輝雄（庶務係長）
主査兼秘書係長	友水忠（秘書係長）
主査兼庶務係長（議会）	風間次雄（庶務係長兼議事
係長）	山口勝男
資産税係長	服部清修（教委庶務係長）
湖北環境衛生組合係長	庶務諸課係長 小沼紀夫
市民係長	佐藤方彦
庶務諸課係長 太田晃	農政係長 岡田武
宿線放送係長	交通安全係長 常山重光
市民相談係長	島角智祐
開発第二係長	飯田健三
教委庶務係長 坂田丈夫	教委庶務係長 飯田宗藏
教委保健係長	飯田宗藏

◆和泉屋旅館（日立市酒原子町）
◆山水荘ホテル（筑波町）
◆玉屋旅館（栃木県塩原町）
（電）塩原二六三一
（電）六一〇七二一
山の家

印鑑証明書は電子
化されています

市では、△年度も四月一日から来年の三月三十一日まで国玉健康保険保養所を開設することになりました。

この保養所は、国民健康保険の被保険者ならだれでも利用することができます。

利用したいときには、保険年金課国保係へお申出ください。

保養所名と利用料金は次のとおりです。

○海の家、山の家の
ご利用を……



山の家利用料金			海の家利用料金			
区分	金額	時間	区分	金額	時間	
宿泊料	大人1人につき (1泊2食付) (A) 2,000円 (B) 1,500	午後4時 から午前	宿泊料	大人1人につき (1泊2食付)	1,500円	
	子供1人につき (1泊2食付) (A) 1,000円 (B) 750	10時まで とする。		子供1人につき (1泊2食付)	900	
休憩料	大人1人につき	300円	4時間	休憩料	大人1人	400
	子供1人につき	200円	単位		子供1人	300

め、印鑑登録原簿を電子コピーで複写し、その複写したものを印鑑証明書として交付することになりました。

第二回 子ども会ス
ポーツの集い開催

子どもの日の催しものとして、五月五日に府中中学校で子ども会を対象としたスポーツの集いを行ないます。（雨の場合は九日に延期）

二月届出
出生六〇
死亡三七

二月出生

印鑑証明書は電子
コピーで

幸宮下渡辺大塚池田大宮岡野矢口小松崎高栖小沢田小疋正利司治一男良吉道夫勝正滋長安昭守長安長女二女長男

内ふゆ
辰雄
善太郎
高野
山崎
喜一郎
繁
吉田
高野
杉本
大土
源次郎
海老沢
義雄

八七三六五六八六七五五七七一四二四六三四六八七八七六八八〇三九二九四六六五〇三三二九一六八六二五六六

人口と世帯

(4月1日現在) 前月比

世帯数	10,014世帯	46世帯増
人口	男 19,116人	36人増
	女 20,785人	7人増
	計 39,901人	43人増

今月の納税

期 期
全 期
國民健康保険税 1 納期限は4月30日限りです。

三 村 土井次郎左衛門
二 台石川 小森 藤矢津島
一 閣 森 賀崎山口
木間塚 小松崎 磯山
寄名 悅志 悅ス や
子エ うみ 弘雄
一八 八六 六五 三三 七六 八六 六五